

授業科目 音響学

【担当教員名】 吉 岡 豊		対象学年	1	対象学科	言語
		開講時期	前期 a	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標 : G10】 言語聴覚士として必要な音そのものに関する知識を習得する。					
【学習目標】 1. 音の性質（屈折、回折など）について理解する。 2. 音の単位dBについて列挙する。 3. 音のスペクトルについて理解する。 4. 音響学で用いる用語について説明できる。 5. 音のAD変換について述べる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	音について			1, 4	
2	音の強さの尺度 1			2	
3	音の強さの尺度 2			2	
4	音のスペクトル			3	
5	伝達関数（フィルター）			4	
6	音声の音響学			4	
7	音声のAD変換			5	
8	音声のAD変換			5	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		言語聴覚士の音響学入門	吉田友敬	KAITUNDO	2005・2,600円＋税
参考書		言語聴覚士のための音響学	今泉 敏	医歯薬出版社	2007・3,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 2/3以上の出席をして定期試験受験資格が得られる。 成績評価は原則として定期試験の結果を持って行う。			【履修上の留意点】 教科書に付いているCDを積極的に活用すること。		